

部局名	財務部	所属名	財政課	所属長名	相馬 清彦	電 話	483-1151 内線3310
-----	-----	-----	-----	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3509		事務事業名称	土地開発基金繰出金						短縮コード	経常		臨時	3509
予算区分	会計	01	一般会計	款	12	諸支出金	項	01	基金費	目	02	土地開発基金費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		地方自治法第241条，八千代市土地開発基金条例							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
基金の運用から生ずる利子を繰り出す。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 景気は回復基調にあるものの，基金現金の利回りが1％にも満たない状況の中で，歳出面での負担増が懸念されており，市の財政を取り巻く環境は依然として厳しい状態にある。					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	06	計画推進のために						
						大項目（節）	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進						
						中 項 目	03	市民サービスの向上を図る行財政運営の確立						
						小項目（施策）	02	健全な財政運営の推進						
						細 項 目	03	長期的な視点に立った財政運営						
					実施計画の計画事業									
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	土地開発基金							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 基金利子の繰り出し							
	※平成19年度に計画していること： 基金利子の繰り出し							
意図 （何を狙っているのか）	公用もしくは公共用に供する，あるいは公共の利益のために取得する土地を先行取得して，事業の円滑な遂行を図る。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	財政計画を踏まえた中で，長期的な視点に立ち，財政需要の変化に柔軟に対応できる財政運営に努める。							
区 分				単位	17年度	18年度		19年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	土地開発基金現在高	千円	877,824	877,885	878,138	879,212	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	土地開発基金運用状況	m ²	4,505.6	0	442.4	0	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	土地開発基金運用状況	m ²	4,505.6	0	0	0	
	指標2	土地開発基金買戻状況	千円	0	0	9,900	0	
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3509	事務事業名称	土地開発基金繰出金				所属名	財政課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			効率性の向上には財源の確保という課題があるため、今年度の事務事業評価では現状のまま継続とした。厳しい経済状況の中で、財源と用地取得のバランスを引き続き検討していく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			基金の有効性を向上させるためには土地の買い戻しに充てる財源が必要となる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
特になし。	

所属長コメント	土地取得事業の円滑な遂行を図るためには、予算措置以外に当該基金の運用が重要となるため、事業の意図，方向性とも適切と考える。 なお，財政調整基金と同様に運用の三原則である①安全性・確実性②有利性③流動性の確保が必要である。	
評価調整委員会意見	☐ 改革改善して継続	担当課の評価を支持するが，課題を検証して効率性を検討していくべき。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止		
☐ 休止		
☒ 現状のまま継続		